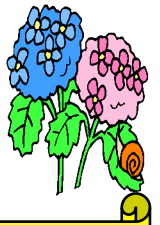


# 中公みはら芸備かわら版



体験講座を紹介します。“初めてのウクレレ” **大講評！！**  
7月から自主講座としてスタートします。



音楽は“心の癒し、そして心の友”と言う人もいるように、「押入れの奥に眠っていたウクレレが、今回の講座で素敵なメロディがよみがえりうれしいです。」というご意見もいただきました。講師の先生は、ハワイコールズというバンドのメンバーでもあり、多方面で演奏活動をされています。“先生のトークも楽しく、丁寧にわかりやすく基本から教えていただけるので次の講座が待ち遠しいです。”と感想を話してくださった方もいます。

生涯学習は 笑顔の宝宝箱

いや～！ウクレレっていいですね！！他の楽器より優しく弾けるのが魅力です。  
この夏、あなたはワイキキの浜辺で、ウクレレを片手に歌っているかもしれませんね。  
さあ～！！レッツGO ウクレレ



## 体験講座紹介

## 新しい風・生涯学習

原文を読もう「源氏物語」  
(楽しく学ぼう雅の世界)  
全2回  
日程 2回目 6月3日(月)  
場所 資料室(2F)  
時間 13:30～15:30  
定員 大人 20人  
参加費 100円  
締切り 5月に締切りました。

古布でリメイク実用小物  
(テッシュボックスカバー)  
日程 6月5日(水)  
場所 第2研修(1F)  
時間 13:30～15:30  
定員 大人 20人  
参加費 500円  
締切り 5月に締切りました。

初めてのウクレレ  
全2回  
日程 2回目6月10日(月)  
場所 第2・3講座室(2F)  
時間 13:30～15:30  
定員 大人 20人  
参加費 100円  
締切り 5月に締切りました。

親子科学工作  
(連鎖型木製輪ゴム銃を作ろう)  
日程 6月15日(土)  
場所 第2・3講座室(2F)  
時間 10:00～12:00  
定員 親子 20組  
参加費 100円  
締切り 6月14日(金)

絶品！！  
アンズでジャム作り  
日程 6月21日(金)  
場所 さざなみ学校 調理室  
時間 10:00～13:00  
定員 大人 16人  
参加費 500円  
締切り 6月19日(水)



### 自分の中に眠る「可能性」

普段「自分の能力は、この辺で精一杯だ」と決めてかかり、本当はもっと伸びる余地があるのに、自分で自分の成長を妨げていることはないでしょうか？私たちの持つ能力は、仕事を処理する能力だけではありません。対人関係を広く結ぶ力、美しいものを美しいと感じる力、趣味などを通して生活を楽しむ力、人を細やかに思いやる力、などいろいろあります。「もうこれ以上できない」という思い込みを取り去ると、案外「できること」が多いことに気づきます。それらを大切に伸ばすことで、人生は益々充実していくことでしょう。

公益財団法人モラロジー研究所発行  
ニューモラル 今月の言葉NO524より引用

●個人的に「なるほど！！」と思える言葉を皆様にご紹介していきたいと思えます。

- 7月の体験講座紹介
- ①ベビーマッサージ
  - ②10分で楽々ゆかた美人
  - ③秘伝のタレを使った夏料理
  - ④初めてのアート書道
  - ⑤親子で作ろう紙ねんど細工
- お楽しみに！！



三原市中央公民館  
三原市円一町2丁目3番1号  
講座の申込先 中央公民館生涯学習課  
TEL 0848-64-2137



# 新連載企画

「海・山・空」夢ひらくまち

## みはら地名由来学

【港町】みなとまち

三原には、海の港と空の港があります。

港町は港があった所というのは、連想することができます。ではどのあたりに港があったかというと、以前は国道2号線と県道三原東城線の接する西野川を少し入った位置に西港がありました。現在の三原港は、昭和十年(1935)年に完成し、西港は埋め立てられました。三原は、糸崎港と三原港と2つの港により栄えていきました。

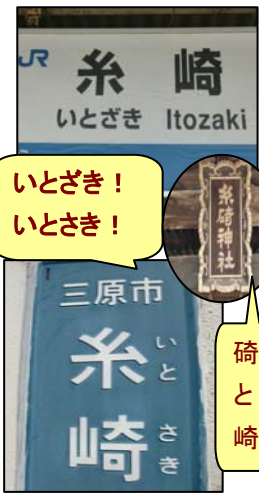
現在の三原港



昭和10年竣工時の三原港



糸崎町【いとさきちよつ】



いとさき！  
いとさき！

碕と崎

いとさきつー いわねつー

糸崎町は明治四十五(1912)年に糸崎町と改称されました。古い時代は御調郡東野村(現在の糸崎町、寿町、時貞町、広友町、古城通り、東町一部)とっていました。この村の、糸碕神社は海上安全、安産の神、往来安穩として尊崇されています。地名について？駅の案内板は「いとさき」、住居表示は「いとさき」、「せ」と「せ」の地元ではどちら？また、糸碕神社のさき(部首)は山でなく石です。神社の鳥居が石で出ているために「碕」を使用したと考えられます。地名の「崎」は、山を切り開いて土地を造つたためと考えられます。歴史的に考えてみては面白いかも？

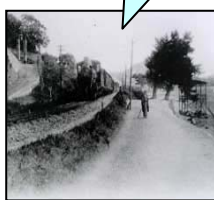
木原町【きはらちよつ】

桃木原から木原へ！

木原の傾斜面は、今はミカン畑として開かれています。『芸藩通志』によると、多くの桃の木が植えられていた記録があり、誰とはなしに「桃木原」と呼ばれるようになり桃を省略して「木原」と呼ぶようになったと伝えられています。以前は、県果樹試験場柑橘試験地ほか、備後ミカン共同選果場もあり、島々で集荷されたミカンの選別がされていました。現在、選果場は三原バイパス工事のため、糸崎港に移転されています。鉢ヶ峰は、鉢を伏せたような

形の山(標高429.7m)だから鉢ヶ峰？知恵と福德を授かるといわれる虚空蔵を祀つた堂もあります。

大正末期頃に六本松付近を走る三原～尾道バス



西野町【にしのちよつ】

三原城の西だから！

三原城の西側に出来た城下町は西町と先月号で紹介しましたが、西野町も城の西にあたります。この地域は5つの谷から大小さまざまな河川により、土砂が運搬され下流域に堆積し耕地が開かれ、野原になり城の西に野がつき西野となりました。とくに西野といえ、小早川隆景が梅の木を数百株植樹したといわれ、「梅の実を半熟したものを煙で黒くいぶしたものを、焼梅」を製造し販売していたとも伝えられています。現在も梅林地区名もあり、多くの梅が管理されています。

昭和初期の西野梅林



大畑町【おおはたちよつ】

自然環境・地形などの表現から！

龍王山(665.1m)から大峰山(610.2m)に連なる山地に広がる地帯で現

在は、団地が造成され当時の面影はなくなっています。芭蕉の句碑(鳥梅が香にのつと日の出る山路かな)を見ながら西に行く、高さ120cm幅25cm厚さ20cmの石柱があります。ここが備後の国と安芸の国の国境、仏ヶ峠と呼ばれているところ。大畑とは、自然環境・地形などを表現した地名であると考えられます。

昭和30年代の国道2号線



頼兼町【よりかねちよつ】

頼兼城跡から地名！

JR山陽本線や新幹線の頼兼トンネル付近の竹やぶ山に、岡崎十郎左衛門頼兼の居城と伝える「頼兼城跡」があります。岡崎十郎左衛門頼兼がこの地で生活をしてきたことから頼兼という地名にされたと考えられます。

頼兼町旧国道(昭和初期)



「三原をもっと知ろう」ということで三原の歴史、地形や人々の暮らしなどから「地名」が付けられていることを、広島民俗学会理事 榎 博自先生の「みはらみである記」一町名考&ふるさと歴史散歩を参考文献にさせていただきます。

写真は、三原市ホームページの歴史民俗資料館より。

皆さんのご意見をお聞かせください。  
地名には、自然環境・地形から命名されたものや当時の荘園の私有地の人名、城下町の整備が進み、城を中心とした地名などがあり、最近では瑞祥地名(めでたい地名)や公募での地名等も見受けられます